庄内余目病院 広報誌

あまるめ～る

2019年
11月号
No. 213

もくじ

《連載》ドクターズリレー
糖尿病から足を守る
～糖尿病性足病変の原因と対策～…P4
事例でわかる脳の病気……P8

「最上川芭蕉ライン舟下り」（戸沢村） 絵／木山 由紀子

寺田院長の
んだんだ！通信

病院の“んだんだ”（そうそう）と思う話題や日々の出来事、医療の話をお届けします。

No.56

庄内余目病院
院長 寺田（てらだ） 康（やすし）

縁起

焼鳥屋のカウンターで飲んでいた時、店の外でボンッ！と乾いた鈍い音がした。

「事故だ！」と店の飲み客と大将、女将とで外に出てみると、一時停止をしなかった車が優先道路を走っていた車の左側面に衝突していた。幸いに怪我人はいなかった。店に戻って、たまたまその日が13日の金曜日だったので、「今日は、縁起が悪かったの～」という話題で盛り上がった。

【縁起】は仏教用語の「因縁生起（いんねんしょうき）」の略で、物事は必ず何らかの原因（因）があり条件（縁）があって生じ（生）存在している（起）ことをいう。しかし現在では、「物事の吉凶の前兆。きざし。前ぶれ。」という意味で使われている。

この俗にいう「縁起」は、人それぞれでその人の人生経験から得られた教訓が滲（にじ）み出ていて面白い。

ある社長は、建設中の自社工場の建設現場で事故が起こることを嫌っていた。「建設事故のあった工場は縁起が悪い」と。

また、ある経営者はオリンピック後や改元後は不景気になるとして、今年になって経営リスク分散のため会社を分割した。

東京で乗ったタクシーの運転手は、乗務して最初の客が長距離客ならその日は縁起がいい。もし近距離客でも不貞腐れたりすると、その日は客回りが悪くなると話していた。

開店して一番に居酒屋に入って飲んだ時、大将が「一番客によってその日の店の縁起が決まる」と言っていた。「自分はどうか？」と尋ねたが、大将は笑って答えなかった。

私は外来診察に出る前に、その日の予約患者の一覧表を眺める。患者さんの顔ぶれ、診察順は毎回異なる。患者さんの病気の具合や顔が浮かぶ。自分は縁起を担ぎはしない。でも、何となくノリのいい外来になりそうな気分になったり、気が重くなったりすることはある。もし人工知能（AI）が医療の現場に入れば、膨大なデータを瞬時に解析し冷静に淡々と合成音声で相手をしてくれるのだろう。

「縁起を担ぐ」。非科学的ではあるが人らしくていい所もあると思う。

さて、写真は一昨年の 11 月に北余目 - 余目間で撮影した、雪を頂く鳥海山を背景に走る羽越本線の貨物列車である。

朝起きて、鳥海山がすっきりと見える日は縁起がいい！

んだんだ！！

あまるめ～るTOPICS ～庄内余目病院ではこんな出来事がありました～

消防救急隊員対象に研修会を開催しました

８月７日（水）、８日（木）、９月25日（水）、酒田および鶴岡地区の消防救急隊員を対象に研修会を開催し、両消防署から計83名の隊員が参加されました。研修会では、「当院における脳卒中救急～ホットライン利用の現状と課題～」と題して、当院の伊﨑堅志脳神経外科部長が講義を行いました。

当院は開設より二次救急医療機関として、地域の救急医療に携わってきました。そして、2015年から脳卒中や心筋梗塞などの1分1秒を争う重症度・緊急性の高い疾患に対して、脳神経外科医師、循環器内科医師が専用の携帯電話を持ち、救急隊員と24時間対応で直接会話ができる独自のホットラインを開設しました。その一番の目的は、医師と直接会話することにより診断・治療をより的確、迅速に行うことです。

研修会では、当院に搬送された脳卒中患者さんがホットライン導入前と導入後で、治療開始までの時間が約1/3に短縮したこと、さらに搬送患者さんの約80%以上が脳卒中であり、その約90%以上に適切な治療を実施できたことが説明され、ホットラインの有効性が明確になりました。また、実際の治療症例も紹介し、より理解を深めてもらいました。研修後の感想では、「傷病者の予後の為にも積極的にホットラインを利用しようという意識が高まった」「ホットラインを活用するかしないかで初期治療に大きく関わっていくため、今後の活動を意識していきたい」などたくさんの意見を頂きました。

伊﨑医師は最後に、「大事なことは、いかに早く病院に搬送されるかという事より、いかに早く検査、診断が行なわれ、適切な治療が開始できるかです。今後もこのような機会を定期的にもち、救急隊員と密な連携を図り、救命率の向上につなげたいと思います」と話し、研修会を終えました。（企画課長・遠藤）

ドクターズリレー
No. 55

≪創傷ケアセンター≫

糖尿病から足を守る
ー糖尿病性足病変の原因と対策ー

足の病気の怖さは小さな異変から始まります。特に糖尿病の方は神経障害で異変に気づきにくく、重症化しやすくなります。大切な足を守るためにも、足に関心を持つことから始めましょう。

年々増える糖尿病とその合併症

厚生労働省の平成 28 年「国民健康・栄養調査」によると「糖尿病が強く疑われる者」の割合は 12.1％であり、約 1,000 万人と推計され、「糖尿病の可能性を否定できない者」も約 1,000 万人と推計され，国民の５人に１人が糖尿病になる兆（きざ）しがあるのです。

糖尿病は初期の段階では症状がありませんが、重症になると“足が腐る”（糖尿病性足病変）ことがあるのです。糖尿病が重症になると３大合併症（糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症、糖尿病性神経障害）に罹（か）ってしまいます。足のトラブルは神経障害によって起こります。これは網膜症や腎症よりは発症率が低いのですが、時に死亡する場合もある怖い合併症です。

そのまま放置すると…

タコや巻き爪、ウオノメなどの小さな足のトラブルが、足の潰瘍（かいよう）や壊疽（えそ）につながります。

糖尿病性足病変はなぜ怖い？

立って歩く人間にとって、足はいつも床や地面、履物に接触している部分です。平均して１日数千歩を歩くので、片足は少なくとも千回以上は叩きつけられています。神経障害が悪化すると、指先から感覚が鈍くなります。徐々に悪化するため本人にはわからないことが多く、「キズがあるのに気付かない、痛くない」、「お湯がぬるいと思ったら、ヤケドしてしまった」といったことが起こります。また、神経が悪くなるとキズの治りが遅くなったり、化膿しやすくなるため、発見時にはすでに足の切断になるほど重篤になっていることも多々あります。

足の小さな異変の気づきが大切です

神経障害自体は治ることがありません。ただし“足が腐る”前には必ず兆しがあるはずです。それを見逃さないことが予防となります。

糖尿病患者さんは、週１回以上は自分の足を見ましょう（足の裏まで）。お風呂の時でよいのです。キズがあるのに痛くないのはおかしいのです。タコやウオノメがあることも異常なのです。巻き爪も化膿すると足が腐るきっかけになります。これらがその兆しです。

そして糖尿病自体を治療し、自己管理することがいちばん重要なのです。足潰瘍の発症率は、HbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）が８％以上になると極端に上昇します。

当院では、創傷ケアセンターを開設し「足と傷の外来」と「フットケア外来」を窓口にして、糖尿病患者さんなどの足のトラブルのご相談に応じています。内科通院中の糖尿病患者さんは、主治医にご相談いただければ当センターを受診できます。

創傷ケアセンター ～足の様々な悩みに対応する4つの専門外来～

創傷ケアセンター

フットケア外来
足病の予防・早期発見・再発防止など、さまざまな足のトラブルに対応。

足と傷の外来
治りにくい足の傷（潰瘍・壊疽）や褥瘡（じょくそう）などを治療。

歩行外来
歩行動作の評価や分析をし、傷の再発を防ぐ正しい歩き方を指導。

くつ外来
傷の治療・再発予防のために除圧サンダルやインソール、靴を作製。

今月の担当医師は…

庄内余目病院
創傷ケアセンター長
（兼）形成外科部長
富樫（とがし） 真二（しんじ）

足の悩みや傷の治療に関するご予約・お問い合わせ
庄内余目病院 創傷ケアセンター（地域医療連携室）
TEL：0234-43-3470（直通）　予約受付時間　月～金曜９時～17 時

Nursing for you
ーあなたに伝えたい看護の心ー
No.100

ママさんナース・インタビュー

庄内余目病院に勤務するママさんナースの一人である足達看護師。当院での働き方や日々の業務、仕事と育児の両立についてお聞きしました。

4階西病棟
（外科、整形外科、歯科口腔外科、形成外科）
看護師　足達（あだち）　留美（るみ）
入　職：2014年4月
出身地：山形県鶴岡市
出身校：鶴岡市立荘内看護専門学校卒業

現在の病棟と仕事内容を教えてください

４階西病棟に勤務しています。外科・整形外科・歯科口腔外科・形成外科の患者さんが入院しています。食道・胃・大腸・胆のうなどの消化器や骨折の手術を受ける方が多く、手術前後のケアと、退院にむけた支援、日常生活の援助を行っています。

スタッフは明るくパワフルで、忙しい中でもユーモアがあり、チームワークのよい職場です。

この病院に勤務した理由を教えてください

新卒で当院に入職しましたが、他の病院でも経験を積みたいと思い、一度退職しました。その後、結婚や出産を経て、自宅が近いこともありますが、子育てしながら働きやすい環境であること、他の病院で働いてみて分かった当院の活気のある雰囲気とチームワークの良さを実感し、また働きたいと思い就職しました。

庄内余目病院の特徴や良い所はどんなところですか

病院の敷地内に職員が利用できる保育園があります。私は育児休暇から復帰して約半年ですが、復帰してしばらくは休憩中に保育園に授乳に行かせてもらいました。

敷地内にある「ひまわり保育園」。保育料は1日500円。夜間保育もあり、家庭の雰囲気を大切にしているアットホームな保育園です。

妊娠中や育休復帰後は、夜勤の回数・時間などの配慮もあり、子育て中の方も働きやすい環境だと思います。また、院外の研修への参加支援もあり、学ぶ機会が多くあることも魅力です。

働く中でやりがいを感じるのはどんな時ですか

患者さんが回復し、退院していく姿を見ると、本当によかったなぁと思います。退院した方が、外来受診の時に病棟に顔を見せに来てくれることもあり、元気な姿を見るとうれしいです。また、リハビリスタッフや医療相談員など、多職種と連携して、退院困難と思われた方が、無事退院された時などもやりがいを感じます。

家庭ではどんな子育てをしていますか？

我が家は夫と４人の子ども（長男：小３、次男：小１、長女：３才、次女：１才）、夫の両親の８人家族です。家事はお義母さんがしてくれるのでとても助かります。職場と家族の協力があって、家庭と仕事を両立できています。休日は子どもの送迎や買い物で終わりますが、マンガを読んだり、録画したドラマを見たりして気分転換しています。夫が大病したこともあり、今は夫婦で元気に金婚式を迎えることを目標に、日々楽しく過ごしています。

看護師採用試験のご案内

◆採用試験日
2019年11月　9日（土）
12月14日（土）
2020年　1月11日（土）
いずれも10：00～

◆試験場所
庄内余目病院
２階会議室

◆試験内容
作文、面接

◆応募資格
看護師資格を有する方、2020年3月に看護師養成機関を卒業予定で看護師資格取得見込みの方

看護学生の授業料を支援！ 奨学金制度のご案内

◆対象者
・看護大学または看護専門学校に在学する学生
・2020年４月看護大学、看護専門学校入学決定者

◆貸出金額
月５万円（学校の修学期間）
※実費がこれを超えない場合は実費が限度

◆貸与条件
卒業後当院で勤務を希望する方。貸与年数と同期間勤務した場合には返済免除。

問い合わせ先
TEL：0234-43-6248（直通）
総務課／佐々木

＼Dr.いざきの／

事例でわかる脳の病気

同じ病気や症状に悩む方の参考にして頂けるよう、さまざまな脳疾患の治療事例をご紹介します。

脳神経外科部長　伊﨑（いざき） 堅志（けんじ）

CASE1

病名：くも膜下出血（50代女性 Y.S.さん）

【受診の経緯】

ある日、自宅の洗面所で嘔吐し倒れている所を家族に発見されたY.S.さん。当院に救急搬送され、検査を受けた結果、くも膜下出血と診断され、すぐに緊急のクリッピング手術を受けました。当初は命に関わる重篤な状態でしたが術後は大きな後遺症もなく、リハビリ入院を経て退院されました。

くも膜下出血に対する治療について

くも膜下出血は若年層の脳卒中死亡患者の約半数を占める恐ろしい病気で、脳の血管に脳動脈瘤という瘤が出来てそれが破裂して発症します。医学が発達した現在でもくも膜下出血の約４割の患者さんは命を落とします。約３割の方には意識障害や重い麻痺や言語障害等の後遺症が残ってしまいます。治療として再破裂を防ぐために外科的手術（脳動脈瘤頸部クリッピング術）や血管内手術（動脈瘤コイル塞栓術）が行われます。

Y.S.さんは、自宅で倒れているところを発見されて直ちに当院に救急搬送されましたが、出血が酷く昏睡状態でした。非常に危険な状態であったため緊急開頭手術が行われました。幸い術後の経過は良好で、現在重い後遺症なく元気に外来通院されるまでに回復しています。

くも膜下出血は、発症後いかに速く診断、治療されるかが直接命に関わってきます。そのため当院では、脳卒中が疑われる救急患者さんの情報を救急搬送中から救急隊と脳外科医師とで共有し、脳外科医師が最初から診断、治療を行えるように努力しています（脳卒中ホットライン）。

【発症時のCT、３D－CTA】

広範囲くも膜下出血を認める。血腫によって脳幹が圧迫されている。

CASE2

病名：脳梗塞（80代 女性T.W.さん）

突然トイレで倒れ、数時間動けずにいたT.W.さん。家族に発見されたときには、意識はあるものの左側の体に麻痺が見られ、声もうまく出ない状況でした。自宅でしばらく様子を見ていましたが改善せず、救急車を要請。当院で精密検査をしたところ、脳の動脈が血栓でつまっている部分が確認でき、すぐに血栓溶解療法（rt-PA治療）を開始しました。ご高齢の方でしたが、その翌日には症状に改善が見られ、2週間程の入院で麻痺もなく歩いて退院するまでに回復されました。

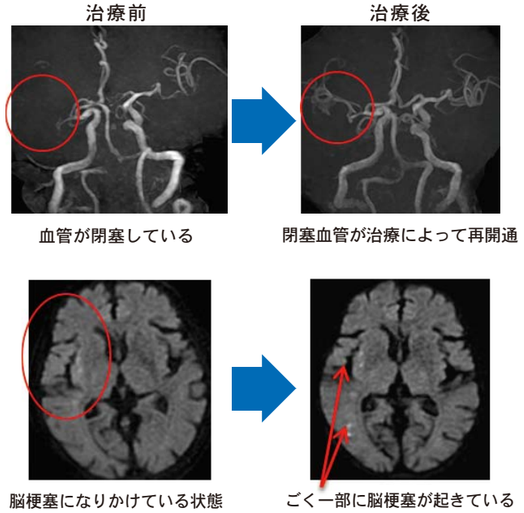
脳梗塞の症状と治療法

脳梗塞は、脳の血管が詰まって脳に血液が行かなくなり脳細胞が死滅してしまう病気です。脳の太い血管が詰まってしまうと広範囲の脳梗塞になり重い後遺症が残ったり場合によっては命を落としたりします。発症直後の脳細胞が死滅してしまう前であれば血栓を溶かす治療が出来ます（血栓溶解治療）。血栓溶解療法でも血栓が溶けない場合は血管内手術によって血栓を回収する治療も行われます。

T.W. さんは、自宅で倒れているところを発見されて当院に救急搬送されました。救急外来では左麻痺があり MRI では脳の右中大脳動脈という太い血管が血栓で詰まっていました。直ちに血栓溶解療法が行われました。その結果、血栓が完全に解けて血流が再開し麻痺もほぼ完全に治りました。現在、後遺症無く元気に歩いて外来通院中です。

脳血栓溶解療法は年齢に関係なく治療できます。ご高齢の患者さんでも治療によって後遺症を全く残さず退院できる場合もあります。そのためには、発症後１分１秒でも速く病院に来ていただく必要があります。脳卒中を疑う症状がある時はためらう事無く救急車を呼ぶ事が重要です。

【発症時（治療前）と翌日（治療後）の MRI、MRA】



外来・入院患者さんの

満足度アンケート調査結果

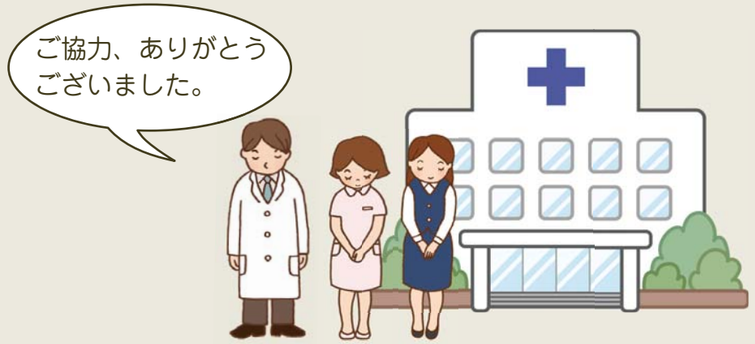
今年４月～６月にかけて全国の徳洲会グループ病院で、患者満足度アンケート調査を実施いたしました。当院では、計 750 名（外来 571 名、入院 179 名）から調査にご協力していただき、心より感謝申し上げます。

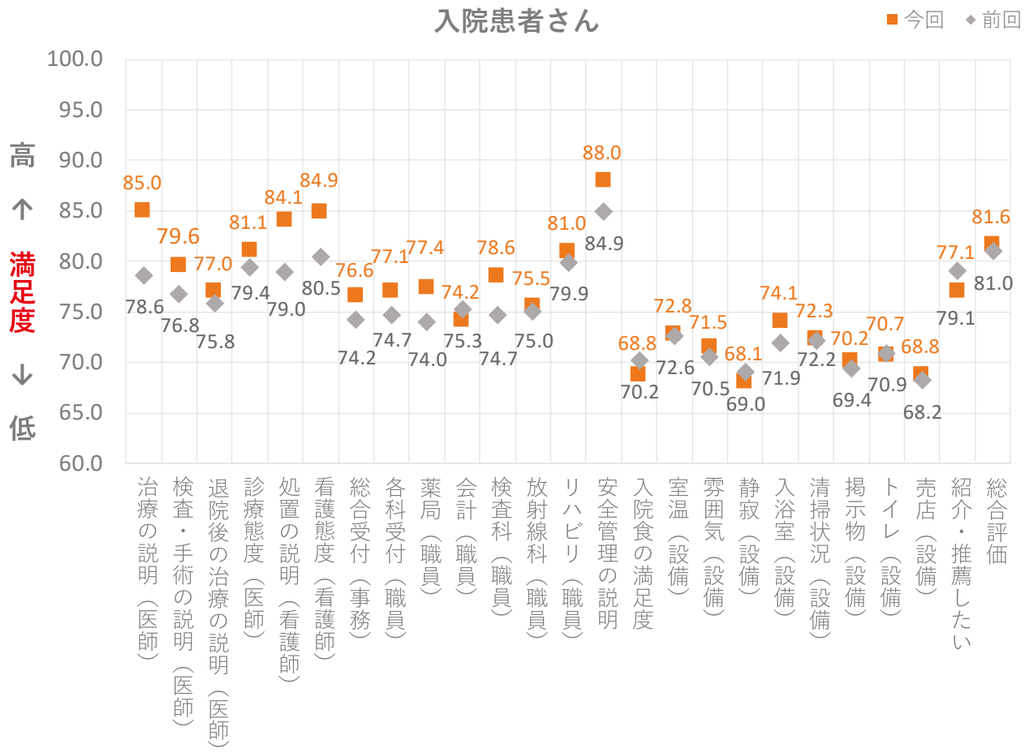
以下に、調査結果の総合評価をご報告いたします。また、皆さまから寄せられた貴重なご意見に関しましても、院内で共有しており、より良い医療サービスの向上につなげていきます。

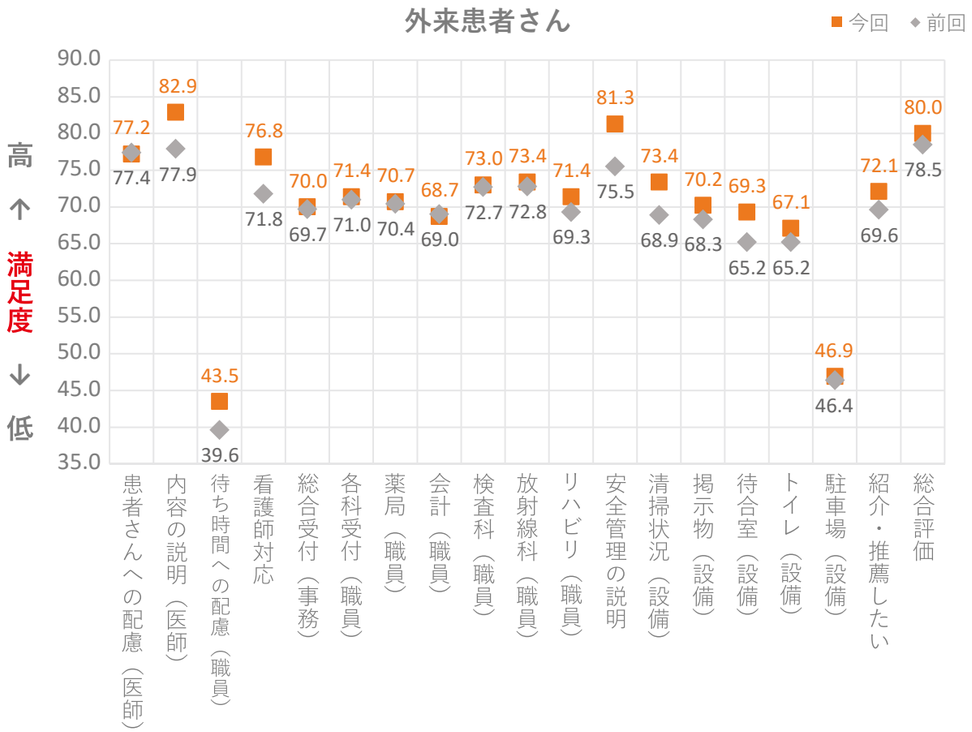
アンケートの評価について

- ◆大変よい…100 点
- ◆よい…75 点
- ◆ふつう…50 点
- ◆悪い…25 点
- ◆非常に悪い…0 点

上記の５段階で評価し、点数の合計を平均した値が満足度となります。







健康友の会コーナー

健康友の会事務局から、毎月の行事イベントや
活動内容をお知らせします。

健康友の会 健康フェスティバル2019を開催

10月20日（日）、心配されていた天気にも恵まれ、「健康フェステバル2019」を開催しました。会場は、約550名の参加者で埋め尽くされ、大いに賑わいました。オープニングセレモニーでは、健康友の会設立当初より役員としてご尽力いただいた石川君さん、筒井昭治さんへ感謝状の贈呈があり、健康友の会池田勝彦会長、梅木作一実行委員長、寺田康院長、ご来賓の原田眞樹庄内町長よりご挨拶がありました。

午前の部は、「高齢者の身体機能障害について」と題し、当院の西邨俊吾内科部長による講演がありました。

午後の部のアトラクションでは、大正琴やフラダンス、地元の踊りの会、カラオケや多彩な芸が披露され会場を和ませてくれました。また、数々の豪華賞品が当たる抽選会、体力測定や手洗い体験、お菓子のつかみ取りなどの催しコーナーも好評で、今年の健康フェスティバルも大盛況で終わりました。

医療講演

大正琴

フラダンス

カラオケ

手洗い体験

体力測定

友の会の会員特典

＼ぜひご入会下さい／

1. 人間ドックの大幅割引
≪通年割引≫
脳ドック　49,500円⇒24,200円（税込）
※一般ドック（27,500円）も期間限定で割引を実施する予定です。

2. 庄内余目病院無料バスの利用
3. 友の会主催の各事業への参加
【健康友の会事務局】
庄内余目病院1階
☎0234-42-0303（直通）

※会費は年度1,000円（個人）です。

（事務局／志田）

お知らせコーナー

少人数から多人数まで“無料出張医療講演”承ります

庄内余目病院では皆さんの豊かな健康づくりのため、地域に出向いて医療講演会を開催しています。講演会費用は一切かかりません。各種研修会や会合、町内会、慰労会、婦人会、学校の保健教育などの際にご利用ください。

【お申し込み・問い合わせ先】
庄内余目病院　☎0234-43-3434（代）
担当／企画課 遠藤・山木
インターネット　庄内余目病院 医療講演　で検索！

読者の皆さまからお便りを募集しています

広報誌「あまるめ～る」では、健康や体に関するご相談や病院の仕組みに対する素朴な疑問などを読者の皆さまから募り、その質問に当院スタッフがお答えするコーナーを企画しています。

なお、誌面にて採用された方には記念品を進呈します。住所、氏名、掲載時の名前（ペンネーム）、年齢をご記入の上、右記宛て先までお送りください。

＼どしどしお寄せください／

宛て先
【郵送の場合】
〒999-7782
山形県東田川郡庄内町松陽1-1-1
庄内余目病院
あまるめ～る編集部「お便り」係
【メールの場合】
kikaku@amarume-hp.jp

編集後記

秋風の涼しい季節となりましたが、皆さん体調は崩されていませんか？今年は9月以降から、各地でインフルエンザによる学級閉鎖や集団感染の報告がされていて、流行が例年より早まるという噂もあるようです。先日、我が家でも急いで予防接種を済ませました。皆さんもワクチン接種とうがい・手洗い、規則正しい生活習慣で、ウィルスに負けない体づくりに励みましょう。（企画課／山木）

2019年11月 診療担当医師予定表

◎※印の付いている医師は予約の患者さんのみの診察とさせていただきます。

◎都合により担当医師が変更になる場合がございます。

◎心臓センター診療科について㊥は循環器内科�心は心臓血管外科の略です。

◎オレンジ色のマスは 女性医師が担当 している枠です。

		1 金	2 土	3 日
内科	午前	瀬角/内科医師	内科医師	文化の日
	夕診	瀬角	-	
外科	午前	張/平﨑	-	
	夕診	-	-	
脳神経外科	午前	畠山	畠山	
	夕診	-	-	
歯科口腔外科	午前	荒/安川	安川	
	午後	-	-	
	夕診	-	-	
心臓センター（循環器内科・心臓血管外科）	午前	㊥菊池	-	
	夕診	-	-	
リウマチ膠原病科	午前	※岸本	※リウマチ膠原病科医師	
整形外科	午前	宮本	菅谷	
	夕診	-	-	

		4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日
内科	午前	振替休日	西邨/瀬角	※山本/眞﨑/松田	西邨/西島	瀬角/内科医師	内科医師	休日
	夕診		-	※山本	-	瀬角	-	
総合診療科	夕診		※寺田	-	-	-	-	
緩和ケア外来			※坂井	-	-	-	-	
外科	午前		木村/坂井	木村/田嶋	張/田嶋	張/平﨑	-	
	夕診		木村	-	-	-	-	
脳神経外科	午前		-	伊﨑	伊﨑	仙北谷	仙北谷	
	夕診		-	-	伊﨑	-	-	
歯科口腔外科	午前		荒/安川	荒/安川	荒/安川	荒/安川	荒	
	午後		荒/安川	荒/安川	荒/安川	-	-	
	夕診		-	-	-	-	-	
心臓センター（循環器内科・心臓血管外科）	午前		㊥細川/�心寺田	㊥菊池/�心嶌田	㊥古瀬/�心嶌田	㊥菊池	-	
	夕診		-	-	㊥菊池	-	-	
婦人科	午前		鎌田	-	-	-	-	
	午後		鎌田	-	-	-	-	
リウマチ膠原病科	午前		-	-	-	-	※池田	
	午後		-	-	-	※池田	-	
神経内科			國井	-	-	-	※高橋	
足と傷の外来・形成外科			-	-	※富樫	-	-	
整形外科	午前		早川	宮本	宮本	宮本	早川	
	夕診		大利	-	-	-	-	
皮膚科	午前		矢島	-	-	-	-	
泌尿器科	午前		-	泌尿器科医師	-	-	-	
	午後		-	泌尿器科医師	-	-	-	
物忘れ外来			-	-	-	-	※高橋	
精神科			-	※伊藤	-	※馬場	-	

		11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日
内科	午前	長戸/和田	西邨/瀬角	※山本/眞﨑/松田	西邨/西島	瀬角/内科医師	内科医師	休日
	夕診	西邨	-	※山本	-	瀬角	-	
呼吸器内科		-	-	-	-	-	呼吸器内科医師	
総合診療科	夕診	-	※寺田	-	-	-	-	
緩和ケア外来		-	※坂井	-	-	-	-	
外科	午前	木村	木村/坂井	木村/田嶋	張/田嶋	張/平﨑	-	
	夕診	-	木村	-	-	-	-	
脳神経外科	午前	伊﨑	-	伊﨑	伊﨑	小野	小野	
	夕診	伊﨑	-	-	伊﨑	-	-	
脊椎センター せぼね外来	午前	-	-	-	-	-	※東山	
	午後	-	-	-	-	※菅原/※東山	-	
歯科口腔外科	午前	荒/安川	荒/安川	荒/安川	荒	荒/安川	安川	
	午後	-	荒/安川	荒/安川	荒	-	-	
	夕診	荒/安川	-	-	-	-	-	
心臓センター（循環器内科・心臓血管外科）	午前	㊥菊池/�心嶌田	㊥循環器内科医師/�心寺田	㊥菊池/�心嶌田	㊥古瀬/�心嶌田	㊥菊池	-	
	夕診	-	-	-	�心寺田	-	-	
婦人科	午前	-	鎌田	-	-	-	-	
	午後	-	鎌田	-	-	-	-	
神経内科		-	國井	-	-	-	※高橋	
足と傷の外来・形成外科		※富樫	-	-	※富樫	-	-	
整形外科	午前	宮本	早川	宮本	宮本	宮本	早川	
	夕診	-	大利	-	-	-	-	
皮膚科	午前	-	-	小栗	-	-	-	
	午後	-	-	小栗	-	-	-	
泌尿器科	午前	-	-	牧野	-	-	※三木	
	午後	-	-	牧野	-	-	-	
物忘れ外来		-	-	-	-	-	※高橋	

		18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日
内科	午前	長戸/和田	西邨/瀬角	※山本/眞﨑/松田	西邨/西島	瀬角/内科医師	勤労感謝の日	休日
	夕診	西邨	-	※山本	-	瀬角		
呼吸器内科		-	-	-	-	-		
総合診療科	夕診	-	※寺田	-	-	-		
緩和ケア外来		-	※坂井	-	-	-		
外科	午前	木村	木村/坂井	木村/田嶋	張/田嶋	張/平﨑		
	夕診	-	木村	-	-	-		
脳神経外科	午前	伊﨑	-	伊﨑	伊﨑	齊藤		
	夕診	伊﨑	-	-	伊﨑	-		
脊椎センター せぼね外来	午後	-	-	-	-	※東山		
歯科口腔外科	午前	荒/安川	荒/安川	荒/安川	荒/安川	荒/安川		
	午後	-	荒/安川	荒/安川	荒/安川	-		
	夕診	荒/安川	-	-	-	-		
心臓センター（循環器内科・心臓血管外科）	午前	㊥菊池/�心嶌田	㊥循環器内科医師/�心寺田	㊥菊池/�心嶌田	㊥古瀬/�心嶌田	㊥菊池		
	夕診	-	-	-	�心嶌田	-		
婦人科	午前	-	鎌田	-	-	-		
	午後	-	鎌田	-	-	-		
神経内科		-	國井	-	-	-	※高橋	
足と傷の外来・形成外科		※富樫	-	-	※富樫	-		
整形外科	午前	宮本	早川	宮本	宮本	宮本		
	夕診	-	大利	-	-	-		
皮膚科	午前	-	矢島	-	-	-		
泌尿器科	午前	-	-	佐々木	-	-		
	午後	-	-	佐々木	-	-		

		25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土
内科	午前	長戸/和田	西邨/瀬角	※山本/眞﨑/松田	西邨/西島	瀬角/内科医師	内科医師
	夕診	西邨	-	※山本	-	瀬角	-
呼吸器内科		-	-	-	-	-	今井
総合診療科	夕診	-	※寺田	-	-	-	-
緩和ケア外来		-	※坂井	-	-	-	-
外科	午前	木村	木村/坂井	木村/田嶋	張/田嶋	張/平﨑	-
	夕診	-	木村	-	-	-	-
乳腺外科	午前	-	吉田	-	-	-	-
脳神経外科	午前	伊﨑	-	伊﨑	伊﨑	小野	小野
	夕診	伊﨑	-	-	伊﨑	-	-
脊椎センター せぼね外来	午前	-	-	-	-	-	※菅原
	午後	-	-	-	-	※菅原	-
歯科口腔外科	午前	荒/安川	荒/安川	荒/安川	荒/安川	荒/安川	安川
	午後	-	荒/安川	荒/安川	荒/安川	-	-
	夕診	荒/安川	-	-	-	-	-
心臓センター（循環器内科・心臓血管外科）	午前	㊥菊池/�心嶌田	�心寺田	㊥菊池/�心嶌田	㊥古瀬/�心嶌田	㊥菊池	-
	夕診	-	-	-	㊥菊池	-	-
婦人科	午前	-	鎌田	-	-	-	-
	午後	-	鎌田	-	-	-	-
神経内科		-	國井	-	-	-	-
足と傷の外来・形成外科		※富樫	-	-	※富樫	-	-
整形外科	午前	宮本	早川	宮本	宮本	宮本	早川
	夕診	-	大利	-	-	-	-
皮膚科	午前	-	-	小栗	-	-	-
	午後	-	-	小栗	-	-	-
泌尿器科	午前	-	-	牧野	-	-	-
	午後	-	-	牧野	-	-	-
精神科		-	-	※馬場	-	-	-

診療時間のご案内

	午前診	午後診	夕　診	診療科により診察曜日が異なることがあります。ご確認ください。
内　　科	9:00～12:00	―	17:00～19:00※	夕診は月・水・金曜日。水曜日の夕診は予約のみ
総合診療科	―	―	17:00～19:00	毎週火曜日（予約のみ）
外　　科	9:00～12:00	―	17:00～19:00	夕診は火曜日
乳腺外科	9:00～12:00	―	―	第４火曜日
整形外科	9:00～12:00	―	17:00～19:00	火・土の午前診受付時間は11:30まで。夕診は火曜日、受付時間は18:30まで
皮　膚　科	9:00～12:00	14:00～16:00	―	火または水、受付時間は11:00まで。午後診は第２・４水曜日
脳神経外科	9:00～12:00	―	17:00～19:00	夕診は月・木曜日
歯科口腔外科	9:00～12:00	14:00～17:00	16:00～19:00	午後診は毎週火～木曜日。夕診は月曜日
泌尿器科	9:00～12:00	14:00～16:00	―	午後診は水曜日。第３土曜日は予約のみ
心臓センター（循環器内科・心臓血管外科）	9:00～12:00	―	17:00～19:00	夕診は１階外来で木曜日
婦　人　科	9:00～12:00	15:00～16:00	―	毎週火曜日
神経内科	8:30～11:30	―	―	毎週火曜日。第２・３・４土曜日は予約のみ
呼吸器内科	9:00～12:00	―	―	第３・５土曜日
精　神　科	9:00～12:00	―	―	第１・４水曜日、第２金曜日（予約のみ）

※予約外の方は内科医師以外の代診となる場合があります。

●今月の特別外来●

予約制	
足と傷の外来・形成外科	毎週月・木曜日
DM（糖尿病）フットケア外来	毎週月・木・金曜日
歩行外来	第１・３木曜日
くつ外来	第３月曜日
脊椎センター　せぼね外来	第３・５土曜日、第３・４・５金曜日（14:00～16:00）
物忘れ外来	第２・３土曜日
リウマチ膠原病科	第１金曜日、第１・２土曜日、第２金曜日（13:30～16:30）
緩和ケア外来	毎週火曜日

診療は・・・
土曜（午前）と平日の夕方診療（19時まで）も行っています。
（診療科により曜日が異なります）
尚、救急患者さんはいつでも受付致します。

予約受付について　診察予約・予約変更は下記までお電話ください。

	電話番号	受付時間
通常予約	TEL 0234-43-8021（予約センター）	月～金曜 13:00～17:00
足と傷の外来、フットケア外来、歩行外来、くつ外来予約	TEL 0234-43-3470（地域医療連携室）	月～金曜 9:00～17:00
歯科口腔外科予約	TEL 0234-43-3434（代表）	月～木曜9:00～12:00、14:00～17:00、金・土曜9:00～12:00

医療法人徳洲会　庄内余目病院

〒999-7782　山形県東田川郡庄内町松陽 1-1-1
電　　話　0234-43-3434（代）
ファックス　0234-43-3435
E-mail　amarumehp@tokushukai.jp
病院ホームページ　http://www.amarume-hp.jp

院長　寺田　康

●基本理念●
生命を安心して預けられる病院
健康と生活を守る病院
地域に貢献する病院

●患者様の権利●
1. 人格とプライバシーを尊重される権利
2. 良質の医療を受ける権利
3. 説明を受ける権利
4. 自己決定の権利
5. 個人情報保護の権利
6. 診療情報の提供を受ける権利
7. 健康教育を受ける権利
8. 宗教的支援に対する権利

あまるめ～る11月号　No.213

■発行　2019年（令和元年）11月1日（毎月1日発行）■発行部数　4000部
■編集　あまるめ～る編集部会　■印刷所　朝日印刷株式会社